



# やまだ 議会だより

No. 149  
2015.12.1発行

## うまいものいっぱい 味わい祭り!

10月25日(日)に山田魚市場で「山田の幸味わい祭り」が開催されました。えびすまきにより開会した後、町内の園児による元気いっぱいの出し物があったり、メカジキがふるまわれたりと、皆さん大変満足した様子でした。



10月  
定例会

議員改選

議会構成が決定 - 2P

議員が抱負を語ります! - 4P

26年度決算

復興事業に集中投入! - 8P

町の考えは!?(8人が一般質問) - 12P

# 改選後初の議会が開会

## 議会構成が決定

9月11日、新たに当選した議員の任期が始まりました。18日には任期最初の議会、10月19日から30日は初の定例会が開催され、議会の構成が決まりました。新たな議会の構成をお知らせします。

(臨時会・定例会のあらまはは6ページから)

### 議長に昆議員

#### 副議長に吉川議員

9月18日に行われた初議会において、昆暉雄議員が再選されました。議長3期目。

また、副議長には吉川淑子議員が選出され、女性初の副議長の誕生となりました。

### 常任委員会の

#### 構成が決定

### 3つの

#### 特別委員会を設置

いままで3つあった常任委員会が、今回選ばれた議員の任期の始まりから2つとなりました。

議員はそれぞれ所属を希望する委員会を議長に伝え、それを基に議長が調整を行い、常任委員会の構成を決めました。

- 最初の定例会において、次の3つの特別委員会を設置しました。
- ① 議会広報を作成する  
「議会広報編集特別委員会」
  - ② 町の復旧・復興について調査する  
「山田町復旧・復興特別委員会」
  - ③ 議会の改革を検討する  
「議会改革検討特別委員会」



# 委員会の構成

## ■総務教育常任委員会

総務課、企画財政課、復興推進課、税務課、町民課、消防防災課および教育委員会の所管に関する事務並びに産業建設民生常任委員会の所管に属さない事項について調査を行います。

◎山崎泰昌      ○阿部吉衛      阿部幸一  
田村剛一      黒沢一成      吉川淑子

## ■産業建設民生常任委員会

農林課、水産商工課、国保介護課、健康福祉課、建設課、建築住宅課および上下水道課の所管に関する事務について調査を行います。

◎尾形英明      ○関 清貴      佐藤克典      田老賢也  
木村洋子      坂本 正      菊地光明

## ■議会運営委員会

議会の会期や日程の調整、また議長の求めに応じて議会運営がスムーズに進むよう調整を行います。

◎田村剛一      ○佐藤克典      阿部吉衛  
坂本 正      菊地光明      吉川淑子

## ■議会広報編集特別委員会

やまだ議会だよりの編集を行います。

◎吉川淑子      ○菊地光明      佐藤克典  
田老賢也      木村洋子      関 清貴

## ■山田町復旧・復興特別委員会

東日本大震災からの復旧・復興に関することについて調査を行います。

◎尾形英明      ○山崎泰昌      (委員は議長を除く全議員)

## ■山田町議会改革検討特別委員会

町民の生活の向上を最終目的として、議会の改革について調査を行います。

◎吉川淑子      ○田村剛一      (委員は議長を除く全議員)

委員長は名前の横に◎、副委員長は○を付けています。委員の並びは議席番号順です。

# スタート！

# 抱負を語ります！

任期：平成27年9月11日～  
平成31年9月10日

※議席番号順  
※写真の下は所属党派名

1番 阿部 幸一



新生会

阿部幸一は、山田町が大好きです。大好きな山田町民の声を行政に反映する努力をしていきます。楽しいです。町民の生活が少しでも良くなるように頑張りたいです。安心・安全な町づくりに努力したいです。

2番 田村 剛一



未来クラブ

長い教員生活の中で山田町は美しく住みよい町だと言ってきた。震災でその町は失われたが、新しい町も住んでよし、見て良しの町にしたい。同時に、大震災大津波の教訓を多くの人に伝え、後世に残したい。

3番 佐藤 克典



政和会

震災からの早期復興、地域産業の推進、子育て支援、高齢者・障がい者福祉の充実、教育環境の整備を図り、進む少子化、人口の流出を食い止める、町民の誰もが安心して暮らせる町づくりに努めていきます。

4番 黒沢 一成



未来クラブ

将来を見据えて一つの課題を考えていきたい。ただ、住みよい町づくりの基本となるのはモラル（道徳・倫理観）であると考える。

5番 田老 賢也



無所属

政治は、すぐに良くなる・急激に良くなるものではないかもしれませんが、ゆっくり少しずつでも山田が住みよい町になるよう、行動していきます。議会改革委員会も設置されましたので、まずはここから！

6番 木村 洋子



無所属  
(日本共産党)

町民の声を聞き、一緒に考え町政に反映できるように頑張ります。安心して、被災者にも、町民にも温かい町をつくりたい。

# 新定数14人で新たな

# 全議員が

7番 尾形 英明



新生会

山田町の復興・復旧を地域住民と共に考え、被災前より住みよい山田町に戻すよう、40年間土木畑で培った技術と行政経験を活かし、行政と一緒に町のいろいろな問題の解決や地域の要望など、議員に与えられた義務として活動する所存です。

9番 阿部 吉衛



政和会

山田町は資源の豊かな港町です。私は有志でつくる「心の絆の会」の会長をしております。これからもガレキ撤去、オランダ島の清掃、子供たちに夢や希望、思い出づくりに、宝の島復活へ、観光復興、復旧復興に頑張ります。

11番 菊地 光明



新生会

町民の誰もが安心して暮らせる地域づくり、特にも地域産業の推進、福祉、生涯学習等の充実を図り、将来の世代に誇れる町づくりのために、1日も早い東日本大震災からの復興を目指していきます。

13番 吉川 淑子



新生会

この9月の臨時会において副議長に就任しました。復旧・復興と目の前に迫った高齢社会の対応と経済の活性化が急務であり、町民の声を町政へ届け、議会の円滑な運営と魅力ある町づくりのため努力していきます。

8番 関 清貴



政和会

山田町の震災復興を成し遂げるために汗を流し、町民の声を町政に届ける役目を担い、「生まれて良かった」、「住んで良かった」と子供からお年寄りまで笑顔で暮らすことが出来る町づくりに努めていきます。

10番 坂本 正



新生会

農林水産業の活性化、若者定住のための雇用の場創出、観光復興、学校完全給食実現に力を入れていきます。町民目線で対話と協働による町づくりに努める所存です。

12番 山崎 泰昌



政和会

水産人口の減少を止めなければ、町勢発展はないし、観光資源を活用しなければ経済も活性化しないと考える。今後も漁業者の所得向上と観光事業を伴うインフラ整備を進め、子育て世代や労働人口者の住みよい町をつくる。

14番 昆 暉雄



政和会

私は浅学非才の身ではありますが、皆さんと共に地方創生の推進を図っていきます。東日本大震災の復興・再生を成し遂げるために、声有り声は政策へ提言。声無き声には寄り添い専心努力する所存です。

次ページからは「臨時会・定例会のあらまし」

# 臨時会のあらし

6月定例会終了後から本号議会報発行までに行われた臨時会について、主な議決議案などを抜粋し、ダイジェスト形式でお伝えします。

**第4回** (8月10日)

## 決まったこと

■高台道路（浦の浜・田の浜線）への接続道路を整備

低地部から高台道路への接続道路を整備するものです。

また、新たな防潮堤の整備により、船越小学校への既設道路が使用できなくなることから、小学校へのアクセス道路もあわせて整備するものです。  
(全員賛成で可決)

■大浦地区1号集落道避難誘導標識を設置

大浦地区漁業集落防災機能強化事業1号集落道に、蓄光板式の避難誘導標識を設置するためなど、必要な事業費を増額し、請負契約を変更するものです。  
(全員賛成で可決)

**第5回** (9月18日)

## 決まったこと

■固定資産評価審査委員鈴木正通氏の選任同意

固定資産評価審査委員の鈴木正通氏の再任について、同意しました。  
(賛成12、反対1で選任同意)



鈴木 正通 氏

■一部事務組合議会議員が決定

○宮古地区広域行政組合議会議員

黒沢 一成  
尾形 英明  
阿部 吉衛

○岩手県沿岸知的障害児施設組合議会議員

木村 洋子

○岩手県後期高齢者医療広域連合議会議員

田村 剛一

**第6回** (10月1日)

## 決まったこと

■番号利用法施行に伴う個人情報保護条例の一部改正

番号利用法の施行に伴い、新たに特定個人情報等の適正な取り扱いを行っていくために、関係する条項を改めました。  
(全員賛成で可決)

■通知カード・個人番号カード、再交付手数料を規定

番号利用法の施行などに伴い、番号の通知カードと個人番号カードの再交付を受ける場合に掛かる手数料を規定しました。  
(全員賛成で可決)

「再交付手数料」

- ・通知カード  
1枚につき500円
- ・個人番号カード  
1枚につき800円

## ことば

〈通知カード〉  
マイナンバーをお知らせする紙製のカードで、氏名、住所、生年月日、性別、マイナンバーが記載されています。

〈個人番号カード〉

氏名、住所、生年月日、性別、マイナンバーなどが記載され、本人の写真が表示されます。  
届いた通知カードに同封されている申込書で申し込みができ、身分証明書として利用できます。

〈マイナンバー〉

生涯変わらない12桁の番号で、住民票がある全ての方に割りあてられるものです。

市町村が持つ個人情報を、行政機関がマイナンバーで確認できるため、窓口での手続きの一部を省けるようになります。



協力して皆さんの生活を守ります (山田消防署)

《ちよこつと言》  
■一部事務組合って何？  
複数の普通地方公共団体が、行政サービスの一部を共同で行うことを目的に設置する組織です。  
例えば、宮古地区広域行政組合では、1市2町1村が共同で廃棄物処理や消防活動を行っています。  
また、一部事務組合には議会が設置され、それぞれの普通地方公共団体から派遣された議員により構成されています。

# 10月定例会

## 町の財政状況に注目！！

10月定例会は10月19日から30日までの12日間にわたって開かれ、町長提案の議案21件と議会提案の議案7件を審議し、全て原案のとおり認定・可決しました。

26年度決算9件は決算特別委員会を設置し、3日間にわたり審議しました。(8～11頁)

一般質問(12～18頁)では8人の議員が登壇し、町政全般の課題についての活発な議論が行われました。

### 【定例会の内容】

#### 財政健全化判断比率

##### 財政は良好と判断

財政健全化判断比率は、次の4つの指標のことで、これを基に自治体の財政状況を判断することができます。

26年度の財政について「山田町は全ての指標で良好な状態にあると認められる」という報告を受けました。

#### ■ 財政健全化判断比率

##### ① 実質赤字比率

一般会計で生じた、財政規模に対する赤字に関する目安  
↓黒字のため該当なし

##### ② 連結実質赤字比率

他の特別会計を含めた町の会計全てで生じた赤字に関する目安  
↓黒字のため該当なし

##### ③ 実質公債費比率

実質的に一般会計で負担する借金返額に関する目安  
↓11%で良好(要注意となる基準は25%)

##### ④ 将来負担比率

将来にわたる実質的負債(借金)に関する目安  
↓マイナス89%で良好(要注意となる基準は350%)

#### 公営企業会計

##### 資金不足なし

山田町の4つの公営企

業会計全てにおいて、26年度の資金不足は生じなかったため「良好な状態にある」と報告を受けました。

#### ■ 公営企業会計

##### ① 水道事業会計

##### ② 簡易水道事業特別会計

##### ③ 漁業集落排水処理事業特別会計

##### ④ 公共下水道事業特別会計

#### 監査委員

##### 山崎議員を選任同意

議会選出の監査委員に山崎議員の選任について同意しました。初の選任となります。

(賛成8、反対4で選任同意)



山崎 泰昌 議員

#### 27年度補正予算 町のお金の使いみち

27年度補正予算(第5号)は7億9787万5千円を追加し、予算総額は58億2932万2千円となりました。

(全員賛成で可決)

補正した主な事業をお知らせします。



織笠跡浜団地災害公営住宅購入費

5億3527万4000円

12月完成を目指して工事中です



町ごみ集積箱購入事業費補助金

30万円

3万円を限度に、設置費用の半額を補助します

小児インフルエンザ予防接種委託料



556万2000円

今年度から助成します

次ページからは「決算審議の概要」

# 東日本大震災関連事業に 423億5958万円（歳出の約87%）

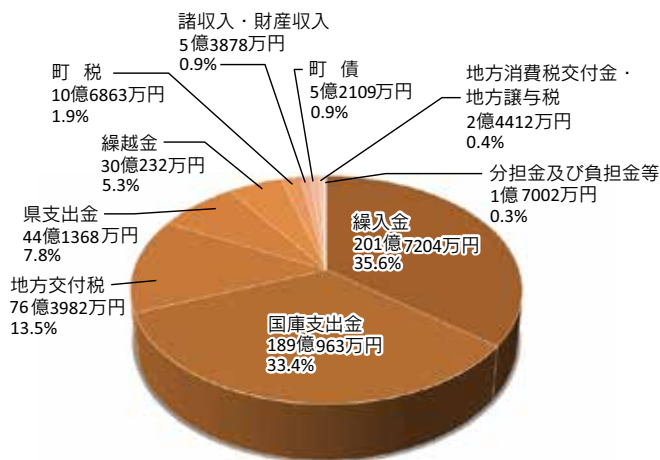
平成26年度決算について、決算特別委員会を設置して10月28日から30日まで審査を行い、全ての決算を全員賛成で原案のとおり認定しました。決算と委員会での審議の概要をお伝えします。

町内各地で復興事業が進んでいます

## 一般会計決算

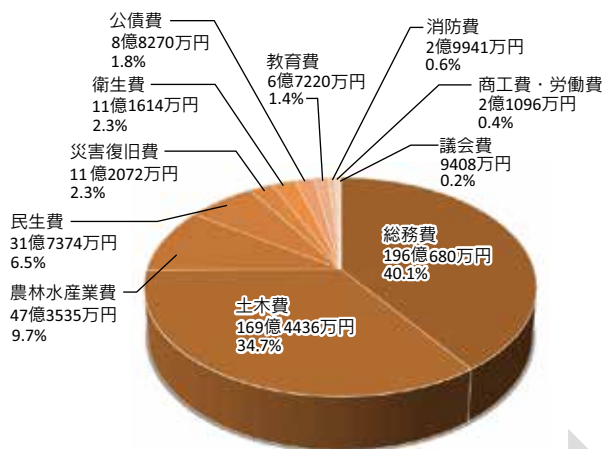
入ってきたお金（歳入）

566億8019万円



使ったお金（歳出）

488億5652万円



27年度への繰り越し事業  
121億1707万円（37事業）

※グラフ中の数字は、端数処理の関係から合計と一致しない場合があります。

※8～11ページの金額表記は1万円未満切り捨てです。

※用語の説明は9ページをご覧ください。



# 復興事業に集中投入！

平成26年度各会計の決算額と委員会での採決結果

会計名		歳入	歳出	採決結果
一般会計		566億8019万円	488億5652万円	全員賛成
特別会計	国民健康保険	29億2942万円	29億1390万円	〃
	後期高齢者医療	1億4715万円	1億4695万円	〃
	介護保険（事業勘定）	16億3705万円	15億5416万円	〃
	介護保険（サービス事業勘定）	542万円	380万円	〃
	簡易水道事業	1億3207万円	1億526万円	〃
	漁業集落排水処理事業	2億1725万円	2億1497万円	〃
	公共下水道事業	7億4130万円	5億1165万円	〃
水道事業会計	収益的収支	2億7371万円	2億4484万円	〃
	資本的収支	1億2555万円	2億1606万円	〃

※1万円未満切り捨て

## 決算の焦点

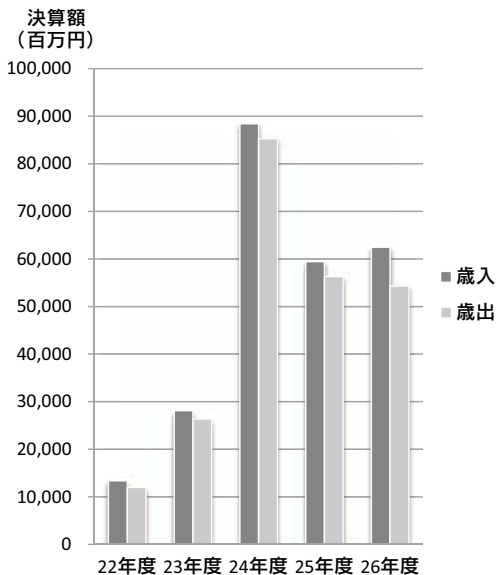
**平** 成26年度一般会計の決算状況は、歳入が566億8019万円、歳出が488億5652万円、歳入が歳出を超過し、黒字となりました。

**自** 主財源は、繰入金、諸収入、町税などの増により25年度より64億7825万円の増となりました。依存財源は国庫・県支出金などの減により39億992万円の減となりました。

**歳** 出は48億8565万2000円で25年度より22億5301万円（44%）の減でしたが、24年度、25年度に引き続き過去3番目の歳出額となりました。

歳出では、復興交付金管理運営基金への積み立て（約186億8千万円）や、防災集団移転促進事業、津波復興拠点整備事業など復興関連事業が423億5958万円となり、歳出決算額の約87%を占めました。

歳入歳出決算額の推移



※水道事業会計を除いた全ての会計の合計額です。

財政用語の説明

名称	説明
繰入金	積立金などから取り崩したお金など
国庫・県支出金	町が行う事業に対して国・県から補助されるお金
地方交付税	町の財政力に応じて国から交付されるお金
町債	各種事業の財源に充てるため、国などから借りたお金
総務費	一般事務や復興事業などに使われるお金
土木費	道路整備や区画整理事業などに使われるお金
農林水産業費	農林水産業の振興に使われるお金
民生費	福祉の向上のためなどに使われるお金
衛生費	各種検診などに使われるお金
公債費	事業を行うために借りたお金の返済に充てるお金

# 決算の 細部まで チェック

委員会での審議の概要をお伝えします。

## 復旧・復興

**問** 山田型復興住宅に関する設計事務所への委託内容は。

**建築住宅課** 床面積が15、18、25坪の基本プラン作成を委託している。年度内にモデル住宅を完成させたい。

**問** 高台住宅団地の擁壁設置について、宮古管内と気仙地域での取り扱いに差があるが理由は。

**建設課** 市町村の基準による。町では1メートル未満は植生シートによるのり面処理となる。

事業費を抑えることもあるが、全ての宅地に擁壁を設置すると宅地の出入り口等を自由に確保できなくなるのが考えられるためである。

**問** 宅地間の段差への擁壁設置に対する補助は。

**建設課** 擁壁設置に対する補助の考えはない。

## 暮らし

**問** 被災者の心の復興、なりわいの再生、コミュニティ再構築に関する主な事業は。

**企画財政課** 地域支え合い体制づくり事業や高齢者地区組織支えあい事業、水産事業者の再起を支援するための各種補助事業がある。

コミュニティ再構築は決算上の数値としては

あまり表れないが、住民協働として仮設住宅自治会に補助金を支給したり、相談員の配置等を行ったりにしている。

**問** 山田病院に時間外の受け入れ体制整備の要望をしてほしいが。

**健康福祉課** 時間外の対応を県医療局に要望している。医師不足であるため、夜勤が可能な医師の確保に取り組んでいる。

**問** 新斎場の整備時期は。  
**町民課** 30年1月の使用開始を目指している。

## 財政

**問** 予算額と収入済額、支出済額に大きな差があるが。

**企画財政課** 決算では予算額に前年度からの繰り越しや翌年度への繰り越しが増減されるため。

**問** 26年度の普通交付税額は。国勢調査を踏まえ、27年度分の見込みは。

**企画財政課** 26年度は31億9200万円、27年度は31億7100万円ほど。現在集計作業を進めている。人口が激減してさまざまな項目の補正により、交付税額は激減しないと見込んでいる。

**問** ふるさと応援寄附金の用途は。寄付額や件数の年度間比較は。

**企画財政課** 産業振興や生活基盤の整備、仮設住宅の駐車場整備などに使用している。寄附者の意向に沿って使用することになっている。

10月26日時点で631件で26年度の3倍、金額は200万円増である。

## 税

**問** 被災地の固定資産税減免制度はいつまで継続されるか。

**税務課** 浸水区域等の減免は27、29年の3カ年の予定。他市町村の動向を



ふるさと応援寄附金等で整備された駐車場

**問** 見ながら実施したい。町民税の収入済額が増額となった要因は。

**税務課** 個人収入が増えたこと、納税の指導の成果が出てきたこと、震災以降しっかりと納税してくる人が増えていることだと考える。

## 国保・介護

**問** 財政調整基金の残金が少ないが、今後の進め方は。

**国保介護課** 残金がわずかとなってきており、税率の改正等も含め、今後の対応を考えていかなければならない。

**問** 介護施設における人員不足はないか。

**国保介護課** 利用者3人に対し職員1人が必要と言われているが、事業所の努力もあり、人員はほぼ足りている。

## その他

**問** 国土調査事業の対応

はどうなっているか。もっと進められないか。

**農林課** 26年秋に予算化されたが、調査には段階を踏まなければならない。年度内実施が不可能で繰り越した。繰り越す前提で予算を配分してもらった。

25年度から外注し、2・8平方キロメートルの調査を実施した。荒川地区は事前調査を行っている。事前調査を行うことで国土調査がスムーズに進む見込みである。

**問** コミュニティー施設の和式トイレを洋式に改修する予定は。

**生涯学習課** 27年度からの改修を予定しているが、トイレのスペースの問題もある。



施設のトイレ改修が望まれています（写真は豊間根公民館）

# 討論

## 《一般会計》

### 震災からの

### 復旧・復興の取り組みを評価

賛成

阿部 吉衛議員

26年度決算は歳出が4

88億円を超え、佐藤町

長を先頭に、東日本大震

災からの復旧・復興を最

優先として取り組んだ結

果だと評価する。

また、投資的経費（町の

の公共事業費）が219

億円を超え、当町始まって

以来の最高額と聞いて

いる。

一日も早い復旧・復興

は町民の皆さんの願いで

ある。今後も町長のリーダー

シップの下、長期の

復旧・復興と新たな町づく

りが進められるよう期待

する。

※反対討論なし

## 次ページからは

# ここが聞きたい！一般質問

# 町の考えは!?

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについて所信を聞き、報告や説明を求め疑問点をたずねることです。10月定例会では8人の議員が一般質問を行いました。掲載している質問は、紙面の関係から内容を要約しています。

質疑全文を記録した会議録は、来年1月下旬ころから、役場5階の議会事務局で閲覧可能となる予定です。

# 学校給食を早く始めるべきでは

## 条件が整えば凍結解除



木村洋子議員  
(日本共産党)

**問** 子供の「食」を守ることは、将来の町を担う子供たちが健康に育ってもらうための大人や行政の務めであり、子供の生きる権利である。当町は大浦小を除き、学校完全給食の事業が震災の影響でできない状況が続いているが、震災から5年目ともなり、学校給食を早く始めるべきとの声が多い。働く親が多い中で、子育て支援の重要な位置付けとなるのに「なぜ山田は学校給食を始めないのだろう」と町民は不信感を抱き始めているのではないか。

また、社会的環境の変化や種々の大人の事情により、ひとり親の世帯も見受けられ、厳しい子育て環境の中で菓子パンだ

### 一般質問

けだったり、お弁当を持たせられなかったり、お弁当を作れないから子供を学校に行かせないという家庭もあると聞く。子供たちは学校給食を待ち望んでいるのではないか。「学校に行けばみんなと一緒においしいものを食べられる」という学校に行く楽しみが一つでも増えることは、不登校の防止にもなるのでは。安心して子供を学校に送り出せるという子育て世代への大きな支援策である。そのため、施設

の建設場所の変更等も視野に入れ、事業の開始を急ぐべき。

**佐藤町長** 学校給食の必要性と町民からの要望が多いことは十分認識している。復興事業の進行状況などの条件が整った段階で事業凍結を解除し、進めていきたい。

建設場所は、生徒数が増え、山田中学校への配送時間の短縮や配送費用の削減のため、当初から計画している山田中学校校舎脇に建設する考えに変わりはない。



大浦小学校給食設備

### 希望ヶ丘団地老朽化への対応は

#### 当面必要に応じ維持修繕で対応

**問** 町営希望ヶ丘団地は老朽化しており、住民から改修・改良してほしいとの声がある。住宅改良の見通しは。

**町長** 建設から35年以上が経過し、老朽化が進んでいるのは認識しているが、当面は災害公営住宅の建設を優先する方向である。

**問** 建て替えの見通しは。

**佐々木建築住宅課長** 耐

### 街灯不足箇所への対応は

#### 要望を基に調査し対応

**問** 街灯の増設を望む声が多いが、不足箇所の点検、対応はどのように行っているか。

**町長** 自治会や地域住民等の要望を基に状況を調査し対応している。

設置基準は、付近に学校などの公共施設があり通行量が多いこと、住宅が3戸以上並んでいることなどだが、夜間の通行状況を確認し、危険な状態であれば対応している。

設置基準は、付近に学校などの公共施設があり通行量が多いこと、住宅が3戸以上並んでいること

#### その他の質問

◆境田ヘルトコンペーは途切れた状態が半年も続いたがなぜか上豊間根の町道からの落下防止策を施すべきでは

# 建設課関係の事業進行状況は

## 一部事業を除き順調

**問** 27年度当初予算に計上されている復興事業と災害復旧事業以外の建設課関係の工事や委託事業の進行状況は。

**佐藤町長** 道路橋梁長寿命化修繕計画策定委託や豊間根地区排水路整備・歩道整備事業調査設計委託事業は年度内に完了する見込みである。  
柳沢北浜地区の区画整理事業は実施計画の変更による国の認可審査に時間を要しており年度内の完了は難しいが、認可が下り次第工事を発注する。

### 道路維持管理専門部署の設置を

### 状況把握に努め現在の係で対応

**問** 町内の多くの道路に雨水がたまったり、穴ほこがあったり、路肩が崩れたりしている状況だ。早急に調査し、補修を願う。そのためにも職員が日々巡回し、速やかに対応できるパトロール車を備えた専門の部署を設ける考えは。

**町長** 町道の路面の補修は、職員による巡回や通報による情報提供を基に状況を把握して早急に対応するよう努めている。巡回を専門に行う部署は設けず現在の係で対応する。



排水整備が待たれる豊間根地区

### 山田北インターフル化への運動を

### 必要であれば関係機関に要望

**問** 三陸国道事務所では、工事が完了した後、地元からのフル化の要望が多ければ検討するとのこと。そのためにも町民全体で運動を行っては。

**町長** 現在、国では29年度の宮古山田間の開通を目指して整備を進めている。完成後の状況を考慮し、必要であれば関係機関に要望していきたい。



荒川地区の三陸沿岸道路

尾形英明 議員  
( 新 生 会 )



議員 清貴 関 (和会政)

# 仮設住宅での住宅再建相談会を

## 県主催の説明会に町職員も同行

**問** 各地区の復興事業の進捗率は。遅れがあるのであれば、その主な理由

**佐藤町長** 大沢地区は予定どおり、約5割の進捗。山田地区は1年半〜2年の遅れ、進捗は約4割、国・県等の事業間の調整や用地問題等で遅れている。織笠地区は区画整理に1年の遅れ、進捗は約8割、土砂運搬との調整と地盤対策に時間を要した。船越・田の浜地区は約半年の遅れ、進捗は約8割、道路事業等との調整に時間を費やした。大浦地区の宅地造成は完了、進捗は約7割。  
**問** 仮設住宅に向向いての住宅・生活再建の相談会開催は。

**佐々木建築住宅課長** 2

カ月に1回、県主催の説明会に町職員も同行し、個別相談会への対応も行っている。

**問** 町長自らが仮設住宅等で説明会を開催し、声を聞く考えは。

**町長** 仮設住宅を月2回程度訪問し、そのときに聞いた話を持ち帰り、担当課から回答するなどしている。



今冬のオープンを目指して工事中です

### 地域の集会施設の再建計画は

#### 場所や規模・財政負担を考えて

**問** 被災した飯岡、北浜防災センター、境田地区の漁村センターなどの復旧計画は。

**問** 震災を経験し、自治会の役割は大きい。悠長なことを言わず進めてほしい。

**町長** 住まいの確保を最優先として取り組んできたが、集会施設については、利便性を考えた場所、施設規模、財政負担などを考慮して検討していきたい。

**上林企画財政課長** 集会施設の必要性は認識している。施設の成り立ちや財源等を考えながら、できるだけ早期に進めていかなければならないと考えている。

### 町民が望む給食事業の早期実施を

#### 事業の優先順を考慮し時期を検討

**問** 学校給食事業の凍結解除の時期は。

言できない。今、検討しているということでは理解をお願いしたい。

**町長** 復興事業を見据え、条件が整った段階でと考えている。

**問** 多くの町民が完全給食を望んでいる。早期に実現できないか。

**町長** 事業の優先順位があり、時期については明

その他の質問

◆震災で傷んだ街灯や側溝蓋等の撤去・修復は

# 空き宅地の処置は

## 順次、再募集を行う

**問** 復興に時間がかかっているため、高台造成地を申し込んでいた人が予定を変更し、空き宅地が出るようであるが、どうするのか。

震災時に住んでいなくても帰るべき家がなくなつた方等への対応は。

**佐藤町長** 該当する地区の移転対象者、地区外の移転対象者の順で再募集を行った後、空き宅地が生じた場合に一般の方への募集を考えている。

震災時に町内に住んでいなかった方も含め、移

転対象者以外への宅地の提供に

関しては、復興庁との協議が必要であるため、

方針が決定した段階で改めて知らせる。いずれにしても、住宅

を建てること条件となる。



船越地区に造成中の高台住宅団地

### NPO問題

## 町の施策に与える影響は

### 支障ないよう努めてきた

**問** 「大雪りばあねつと。」問題の影響で、町は6億数千円もの損害を被つた。

本来であれば町民のための施策に使われるべきお金である。町政への影響があるのでは。また、

このことが学校給食の実施を妨げる原因となつていないか。

**町長** 町として巨額の損害を被つたことは事実であり、全く影響がないとは言えないが、このことにより町民に迷惑を掛けるこ

とがないよう、また各種事業の進行に支障が出ないよう努めてきた。  
学校給食の実施を妨げる原因とは考えていない。

### 災害公営住宅

## 低所得者に対する方策を

### 家賃低減と福祉施策で

**問** 災害公営住宅に入居する方は、国民年金受給者など収入が少ない方もいる。震災前には固定資産税は支払つても家賃の支出がなかった人にとつては大きな負担となる。何らかの方策を考えるべきでは。

決定される。

政令月収が8万円以下の低所得世帯を対象に10年間の家賃低減策がある。入居から5年間は減額、6年目から10年目まで段階的に上がり、11年目から本来の家賃となる。

**甲斐谷副町長** 生活保護など福祉施策での対応が必要となることもある。

**町長** 災害公営住宅の家賃は世帯の収入に応じて



大沢地区に建設中の災害公営住宅



黒沢一成議員  
(未来クラブ)

# 本年度実績に対する見解は

## 飛躍的な伸び、特産品返礼が要因か



阿部 幸一 議員  
( 新 生 会 )

**問** 当町においては、2014年度のふるさと納税の件数は206件、金額は1183万円だった。2015年度の4月から7月までの件数は444件、金額は972万円で、伸び率は大変良いと思うが、町はどのように考えているか。

**佐藤町長** 平成27年度のふるさと応援寄附金、いわゆるふるさと納税の状況は、本年9月末現在で507件、金額では1176万円となっている。前年度実績と比べると、件数では既に大きく上回り、金額では同額程度になっている。

本年4月からふるさと特産品の返礼を開始したが、このことが大きな要因と捉えている。今後も



山田特産の殻付きカキとホタテ（ふるさと応援寄附への返礼品の一例）  
町ホームページに返礼品のカタログが掲載されています

町の魅力ある地場産品をふるさと特産品として全国に紹介しながら、ふる

さと応援寄附金の増加につながるよう努めています。

### 共同店舗建設単価の抑止を

#### 経営を考慮し抑えられている

**問** 共同店舗の建設単価を低く抑えるよう関係者と協議し、指導してはどうか。

**町長** 津波立地補助金を受け、復興庁等からは持続的に運営可能な収支計画を強く求められてきている。特に共同店舗棟の建設単価については、まち

なか再生計画策定時から、復興庁やアドバイザの強い指導を受けてきた。この指導に基づいた形で事業計画が立てられていることから、指摘のように建設単価は持続的な経営を考慮し抑えられていると理解している。

#### ベルトコンベヤー稼働なぜ遅れた

#### 設置箇所の境界確定に時間要した

**問** 境田地区に設置したベルトコンベヤーがなぜ数カ月も止まったままだったのか。

**町長** ベルトコンベヤー

設置予定のルートの境界確定に時間を要したため稼働が遅れていたが、11月から稼働する計画で進めている。



# 学校給食検討委員会設立を

## 教育委員会でも内部検討

**問** 町民の多くが学校給食の実施を望んでいる。計画凍結を早く解除されたい。

**佐藤町長** 復興事業の進行状況を見ながら判断したい。実施することは決まっている。

**問** 教育委員会として学校給食にどう取り組んでいるか。

**佐々木教育長** 町長部局と意見交換し、情報を共有しながら対応している。

**問** やることは決まっているのだから、検討委員会を立ち上げて準備してはどうか。

**教育長** 検討委員会もそうだが、内部で当初計画のとおりできもの、できないものの洗い出しをしている。

**問** 教育委員会としては既に内部検討を行っているかと理解して良いか。

**佐々木教育次長** 公ではないが、当初計画の見直しは内部で検討している。

**問** 教育委員会として既に内部検討を行っているかと理解して良いか。



北浜地区の復興事業の様子

## 復興事業の進行状況は

### 関連事業の関係で遅れも

**問** 住宅関係の復興事業の遅れが心配。北浜地区の高台移転計画の先行きが見えないが、どうなっているのか。

**町長** 町道細浦柳沢線新設工事の関連で着工が遅れているが、めどが立ったので、29年度までには造成工事を完成させた。

**問** 山田型モデル住宅の見通しは。

**町長** 建設希望者は12人であり、遅くとも年度内にモデルハウスを建設し、自力再建を目指す人

### その他の質問

- ◆仮設住宅の集約計画を
- ◆災害公営住宅の入居条件緩和を
- ◆浸水地域の土地利用計画を
- ◆三二交番を中心市街地に
- ◆児童生徒の安全対策を

たちに見学してもらおう計画である。

**問** 中心商店街の建設工事は遅れているのでは。

**町長** 来年2月に本体工事着工、9月にはオープン

## 水産業の将来展望を示せ

### 将来の水揚げが鍵

**問** 山田の基幹産業である水産業の将来展望は。

**町長** カキ・ホタテなど養殖漁業の生産額は回復傾向。アワビ・ウニなど採貝藻漁業の生産額は震災前の水準に近づきつつあるが、漁船漁業は伸び悩んでいる。秋サケも低迷し、水産業を取り巻く環境は厳しく、注視が必要である。

**問** 養殖漁業の外敵ザラボヤが大繁殖しているが、対策は。

**町長** 漁協を中心に県、町で現状把握、被害情報の収集に努めるとともに、沖洗い機による実証試験に取り組んでいる。

**問** 漁協、魚市場の水揚げ状況や経営の展望は。

**町長** 漁協の生産は震災前の約71%まで回復、決算も4期連続黒字。魚市場の水揚げも震災前の86%まで回復、決算も2期連続黒字。経営は今後の水揚げに影響されるため注視する必要がある。

田村剛一議員  
(未来クラブ)



阿部吉衛議員  
(政和会)

# 養殖漁業者に支援を

## 検証結果などで支援策を検討

**問** 現在山田湾内で異常発生しているヨーロッパザラボヤについて、三陸やまだ漁業協同組合から相談があったか。支援策はあるのか。

**佐藤町長** 震災後、山田湾内で急激に増殖した外来種のヨーロッパザラボヤにより、養殖作業の効率低下や養殖物の成長不良、ザラボヤの荷重による養殖物の脱落などの被害が顕著となっている。漁業者から三陸やまだ漁協を通じて、被害に関

する相談を受けている。

現在、漁協を中心に県、町でザラボヤ大量発生 の現状把握と被害対策の 情報収集に努めており、ザラボヤ駆除に有効とされる「沖洗い機」による実証試験を行っている。検証結果などを基に支援策を検討していきたい。



沖洗い機によるザラボヤ駆除

## 震災の行方不明者捜索は

### 要望があれば関係機関へ要請

**問** 本町内でも東日本大震災による行方不明の方がたくさんいると思う。町で陸や海を捜索する計画はないのか。

**町長** 町が捜索をすることは考えていない。

ご遺族や町民の方から捜索場所などの依頼があった場合は、月命日に捜索を実施している宮古警察署や釜石海上保安部等へ要請をしていきたい。

## 学校給食

### 子供たちに夢と希望を

### 復興事業の進捗見据え進めたい

**問** 定例会のたびに学校給食について各議員が質問しているが、なかなか前が見えてこない。これは早急に取り組む課題であると考える。町の考えを示していただきたい。

**町長** 学校給食実施について町民の方々からの要望が多いことは十分に認識している。給食センターの建設については現時点で事業を凍結している状況だが、復興事業の進行状況などを見据えながら進めていきたいと考えているので理解をお願いしたい。



## 学校給食事業

# 町民への説明と代替手段検討を

## 説明は十分、代替手段は検討する

**問** 町として学校給食実施の意思があるかないか問う。また実施できない原因は。

**佐藤町長** 給食の要望が多いことは十分に認識しており実施する方針に変わりはない。現時点で凍結解除できない理由は、町民グラウンドを仮設住宅に使用しているため、建設予定地を生徒の授業や部活動で使用していることなど。

また凍結原因ではないが、保護者から集める給食費とは別に、調理配送費用などで毎年約8千万円の維持管理費が必要。  
**問** つまり実施の意思はあるが、建設地の問題があり、建設地を変えたと配送費がかさむため実施できないと捉えた。なら

田老賢也議員  
(無所属)

ば町がすべきことは大きく2つある。

1つ目、まず何より大切なのは有権者・保護者に説明すること。ここが不十分なため、議員に多くの要望が寄せられ、何度も議会を取り上げられる。住民説明会の開催でも、児童・生徒経由での資料配布でも良い。建設地と予算の問題ですぐには実施できないとしつかり説明すれば、保護者は分かってくくださるはず。

**佐々木教育次長** 町民への説明は、議会での回答が何度も議会だよりに掲載されており、不十分とは思わない。

**問** 2つ目、従来計画をそのまま実施できないのであれば、代替手法を検討しているか。人口減少が続く中での給食センター建設は負担も大きく、子供のための給食が、将来の税金負担として大きくのしかかることになりかねない。民間委託している地域もあり、宮古市や大槌町の施設を利用させてもらい費用を抑える案もある。このような手法の検討は。



みんなで食べるお弁当はおいしいね！（船越小学校のお弁当の時間）

**教育次長** 代替手法に関しては、町の給食センターで作ったものを子供たちへ届けるという方針は変えていない。

**問** 議会だよりに掲載されているので十分と言いますが、それでは情報が届か

ない人も多い。直接説明する機会を設けなければ状況は変わらない。直接説明の機会を設けるべきである。

また町で作ったものを子供へ届けるのとことだが、委託なども町で作る

ことに変わらない。今の計画が無理ならば代替手段を検討すべきと思うが。

**教育次長** 従来計画の継続で考えているが、代替手段についても検討させていただく。

### その他の質問

◆ 財源確保のためのこれまでの取り組みと今後の予定は  
◆ 震災後に当町で操業の意思があった企業の誘致活動の経緯と実現に至らなかった原因、および今後機会を逃さないための取り組みは

### 一般質問

傍聴席からひとこと

No. 45

「町議会を傍聴して」

町老連会長  
阿部 實 さん  
大沢・81歳

私たち山田町老人クラブ連合会では、去る10月19日に行われた平成27年第3回定例会の傍聴を、町老連役員活動の一環として行うことになり、参加者8名(うち事務局1名)で傍聴させていただきました。私は、傍聴は2回目ではございましたが、確か初回は昭和40年代頃だったかと思うので、今回が初回みたいなのでした。

っており、誰でも分かるように話されていますので大変勉強になりました。

通常、一般には会議場内の模様が拝見できるのはテレビでの国会乱闘の様相が強烈に印象にあるので、会議といえはあのような感情むき出しのことがたびたび行われるのかと思ったりもしていましたので、わが山田の議場内でもあるいは起こることもあるのかと下衆の勘繰りで思うこともあったのですが、そのような下品な事柄は見られず、非常に上品に行われていたので、わが山田の議会は立派なものだと思つて帰つてまいりました。

◆議会を傍聴しませんか  
次回の定例会は12月初旬に開会予定です。  
傍聴の手続きは簡単です。是非お気軽にお越しください。

議員研修会を開催しました

議会の仕組みなど、私たち議員の疑問にいつも答えてくれる岩手県町村議会議長会とい



講師の米田武美参与

う団体があります。今回は米田武美参与(写真)をお招きし、議会改革について研修会を行いました。住民生活の向上のために、議会はどのような活動をしていくべきかなど、非常に分かりやすくご指導いただきました。米田先生ありがとうございました。

これからどうぞよろしくをお願いします!

私たちが広報委員です!

新しい議会広報編集特別委員が決まりました。皆さんに分かりやすい紙面作りを心がけ、議会を身近に感じてもらえるようにがんばります!



あ  
と  
が  
き

▼9月6日の町議会選挙で新議員14人が決まり、初めての本会議が開催され、議席や各委員会構成が決まりました。10月19日から定例会が始まり、一般質問は8人の質疑応答が繰り広げられ、傍聴者は延べ29人でした。議会広報編集特別委員は6人中4人が新人議員になり、リフレッシュパワー全開であります。町民に親しまれる、分かりやすい議会だより作りを目指し頑張つてまいります▼10月23日から26日まで希望郷いわて国体リハール大会、第27回東北地区高校軟式野球大会が総合運動公園野球場で行われ、23日から25日まで、山田町婦人団体協議会として、カキ汁などの炊き出し1日300食の手伝いをしました。県内外の野球観戦者や選手たちには大変喜んでもらうことができました。婦人会の皆さんの協力に感謝します。選手たちの礼儀正しさと若い笑顔がまぶしかったです!来年の岩手団体の成功を祈ります。(吉川)

◆発行責任者

議長 昆 暉 雄

◆議会広報編集特別委員会

委員長 吉川 淑子  
副委員長 菊地 光明  
委員 佐藤 克典  
" " 木村 賢也  
" " 関村 清貴